

=====**御使用前に必ずお読みください**=====

## 《被水防止板 T 型》 取扱説明書

この度は、弊社製小区画型スプリンクラーヘッド (SP-FR-FS (S) II 型、水道連結 SP-FR-FGH30 型、水道連結 SP-FR-FGH43 型) 及び被水防止板 T 型を御採用いただき誠に有難うございます。

本製品は厳しい品質管理の元で製造され、高度な品質と性能を誇る製品でございますが、御使用に關しまして下記事項に御留意の上、御使用いただきますようお願い申し上げます。

施工業者様におかれましては、本書の全項目をよくお読みください。また御施主様側へ内容をよく御説明の上、本書をお渡しください。

スプリンクラー設備が、設置されてからの設備管理にあたる方におかれましても、本書をよくお読みの上、関係者に周知してください。また本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

=====

### 1. 製品概要

被水防止板 T 型は、火災時に作動した小区画型スプリンクラーヘッドの散水により隣接する小区画型スプリンクラーヘッドの被水を防止します。

被水による冷却効果で、火災拡大時に隣接するスプリンクラーヘッドの「熱感知」・「火災感知」が損なわれ、適切に作動しない事が発生すると考えられます。被水を防止する事で、火災時の隣接するスプリンクラーヘッドの作動遅延、不作動を防ぎます。

被水防止板 T 型は、専用の弊社製シーリングプレート T 型に取付けて使用します。共同住宅等で同一居室内に 2 個以上の小区画型スプリンクラーヘッドを設置した場合、相互の離隔距離が「表 1. 被水防止板無しの場合の必要離隔距離」を満足しない全てのスプリンクラーヘッドに取付けてください。特定方向への散水を制限し、被水を防止します。

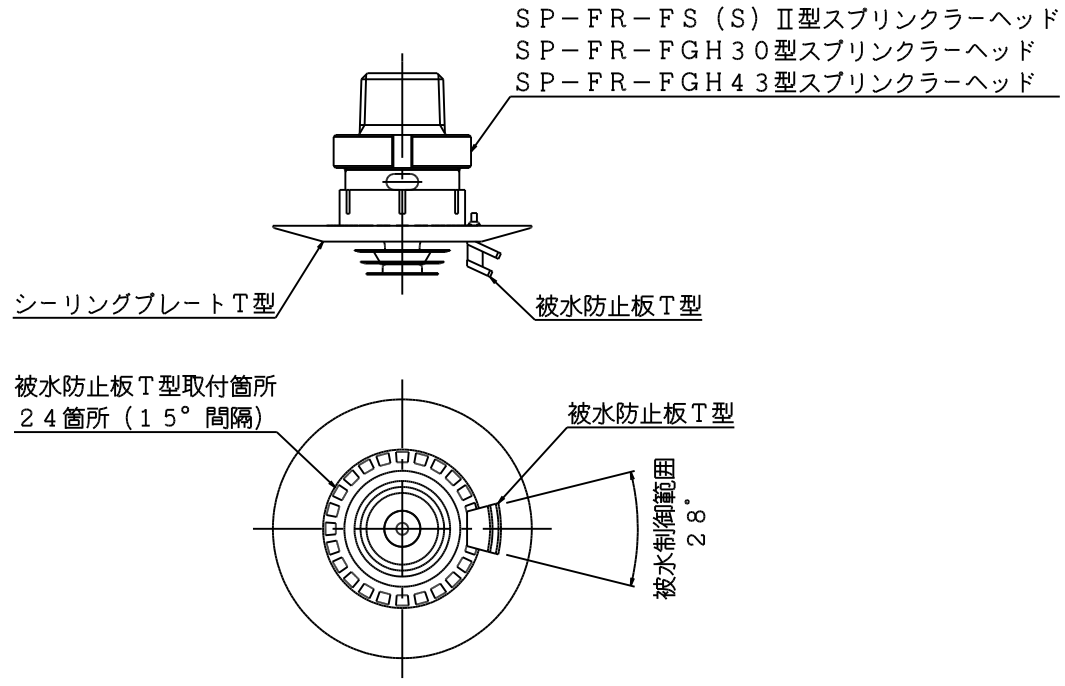


表 1. 被水防止板 T 型無しの場合の必要離隔距離

放水圧力	SP-FR-FGH30	SP-FR-FGH43	SP-FR-FS(S)II
0.1MPa以下	1.5m	1.6m	2.0m
0.1MPaを超え0.3MPa以下	2.2m	2.5m	2.6m
0.3MPaを超え0.5MPa以下	2.6m	2.9m	3.0m
0.5MPaを超え0.7MPa以下	2.9m	3.0m	
0.7MPaを超え1.0MPa以下	3.0m		

※参考：スプリンクラー設備の設置及び維持に関する基準（平成8年6月11日消防予115）

共同住宅等に係る消防用設備等の技術上の基準の特例について（平成8年10月1日消防庁事務連絡）

表 2. 被水防止板 T 型付の場合の必要離隔距離

放水圧力	小区画型スプリンクラーヘッド全型式
1.0MPa以下	1.0m

注意事項

- ①被水防止板 T 型は、弊社製小区画型スプリンクラーヘッド (SP-FR-FS(S) II 型、水道連結 SP-FR-FGH30 型、水道連結 SP-FR-FGH43 型) 及びシーリングプレート T 型専用品です。他社製のスプリンクラーヘッドには使用できません。
- ②被水防止板 T 型は、取付けられた小区画型スプリンクラーヘッド自身の被水を防ごうとするものではなく、隣接するスプリンクラーヘッドを被水させないために取付けるものです。同一居室内に 2 個以上のスプリンクラーヘッドを設置した場合、相互の離隔距離が「表 1. 被水防止板無しの場合の必要離隔距離」を満足しない全てのスプリンクラーヘッドに取付けてください。
- ③被水防止板 T 型を設置した場合の小区画型スプリンクラーヘッドの最小離隔距離は 1.0m 以上としてください。スプリンクラーヘッドの放水圧力には関係ありません。
- ④被水防止板 T 型の有効範囲 (被水制御範囲) は下図の通りです。（図-1 参照）

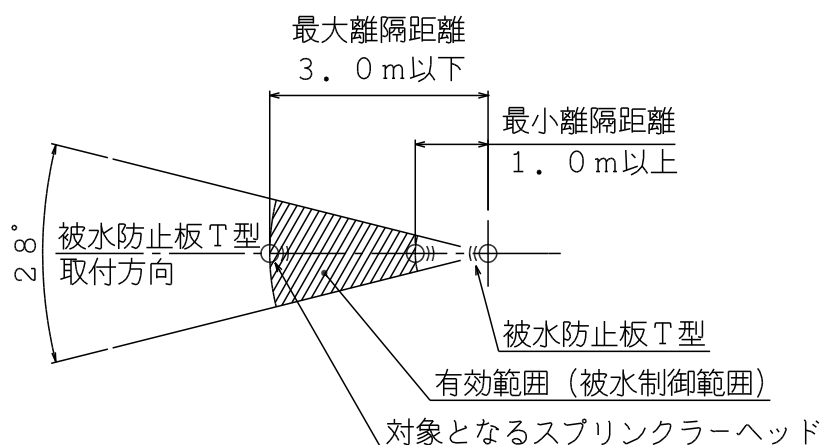


図-1 有効範囲 (被水制御範囲)

- ⑤被水防止板T型は、専用の弊社製シーリングプレートT型に15° 間隔で取付ける事が出来ます。対象となる小区画型スプリンクラーヘッドが2個以上となった場合でも、被水防止板T型を追加する事により対応が可能です。但し、最小離隔距離と有効範囲(被水制御範囲)にも十分注意してください。(図-2 参照)

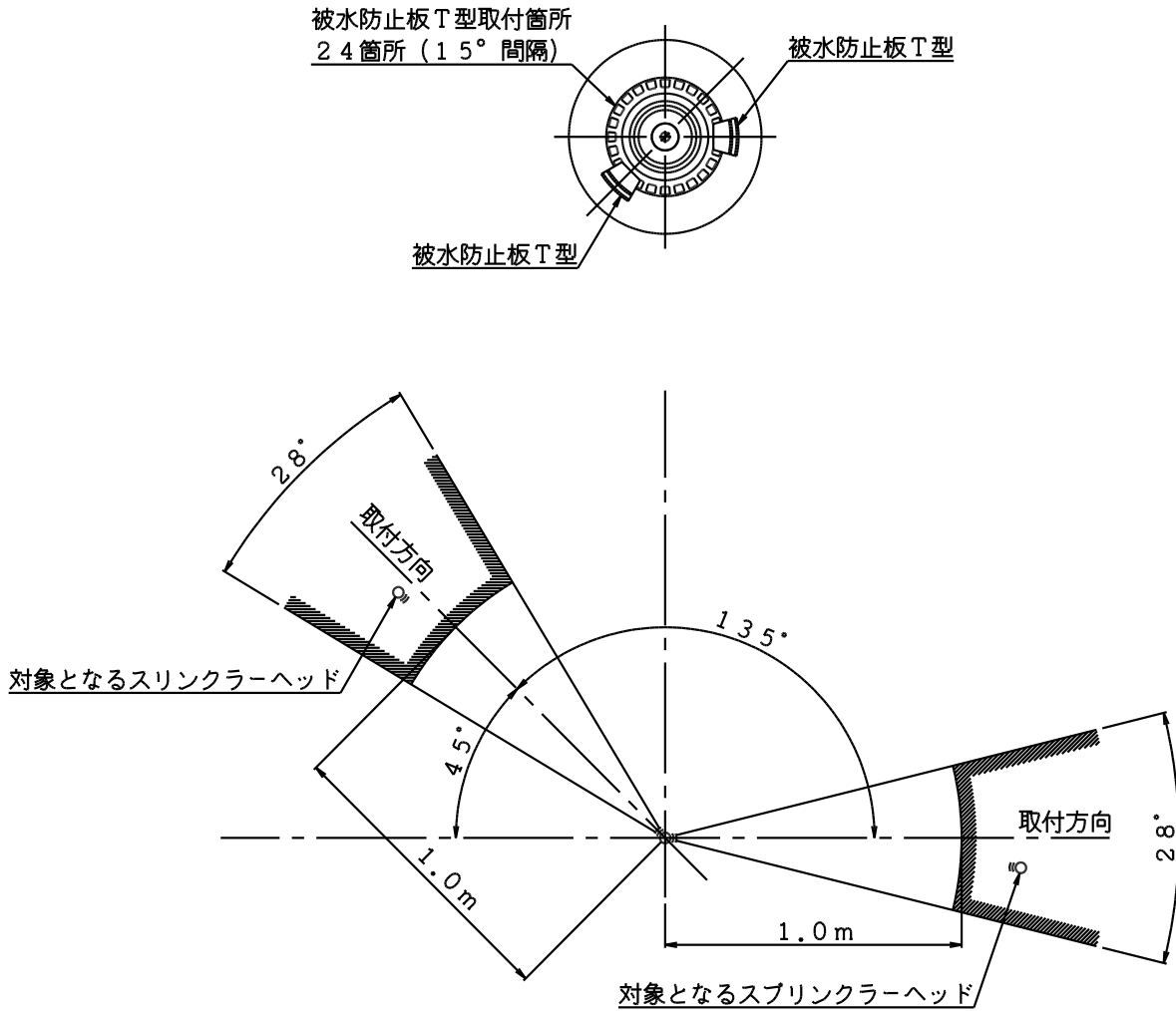


図-2 対象となる小区画型スプリンクラーヘッドが2個以上の場合(例)

⑥被水防止板T型を並べて取付けた場合の取付間隔は $30^\circ$ 、有効範囲は各々 $28^\circ$ です。(図-3参照)

対象となるスプリンクラーヘッド相互についても必要離隔距離、被水防止板T型の取付有無について御検討ください。

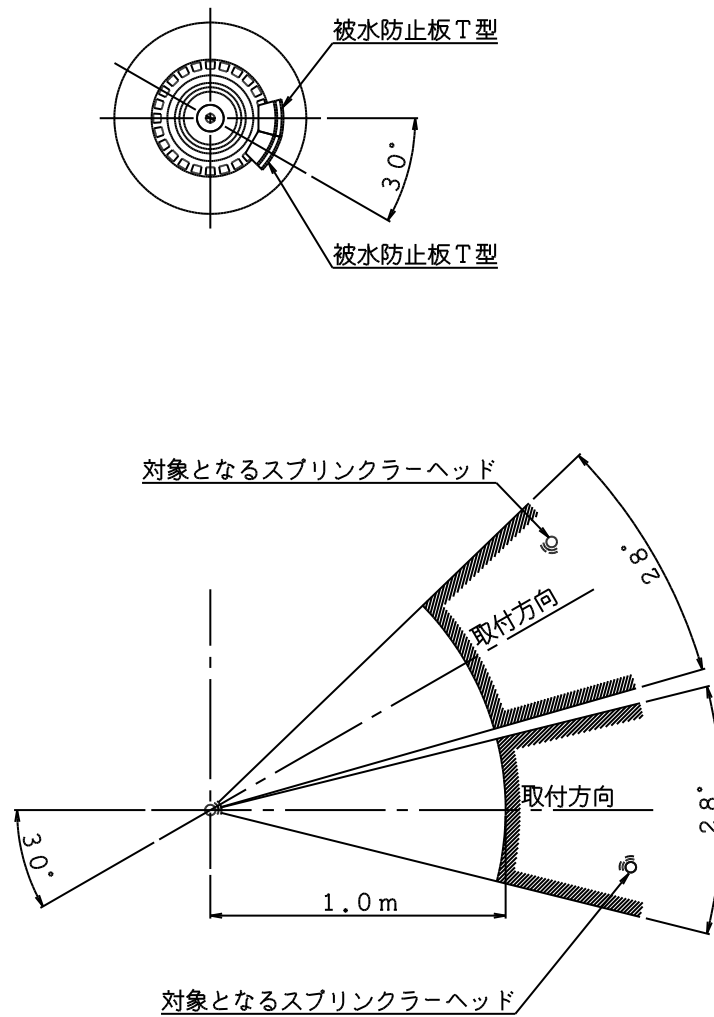
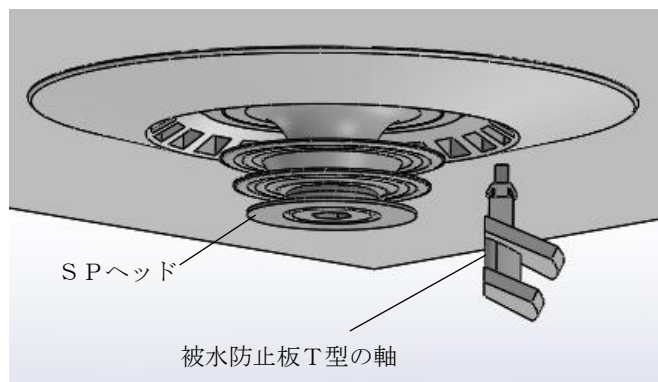
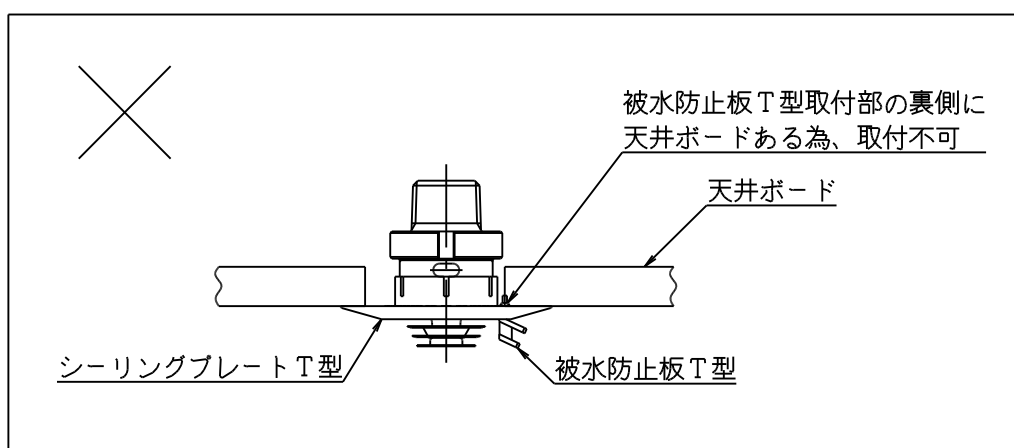
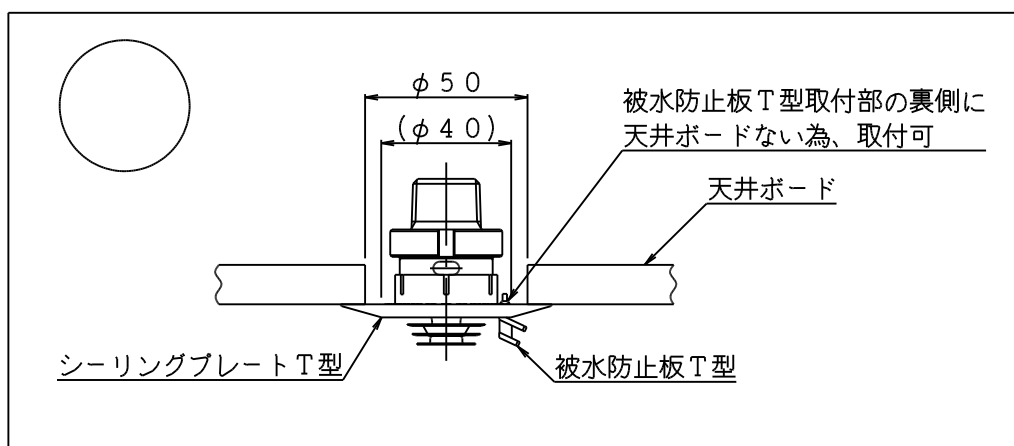


図-3 被水防止板を並べて取付けた場合(例)

- ⑦被水防止板T型は再利用できません。取付後に取り外した場合は再利用せずに廃棄して下さい。再利用した場合、シーリングプレートT型から外れやすくなります。また、取付時に破損した場合も再利用せず廃棄して下さい。
- ⑧被水防止板T型には取付方向があります。被水防止板T型の軸はSPヘッド側となるよう取付けて下さい。



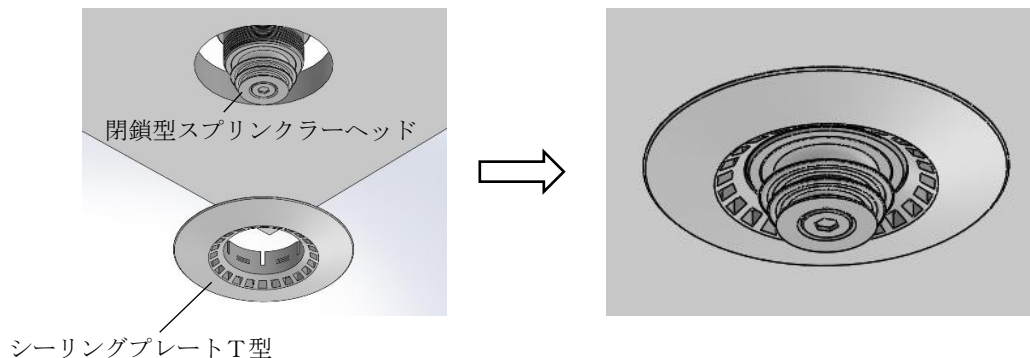
- ⑨被水防止板T型の取付時にSPヘッドの感熱板を变形させないようにご注意下さい。
- ⑩シーリングプレートT型（被水防止板T型取付部）の裏側に天井ボードがあると取付できませんのでご注意下さい。



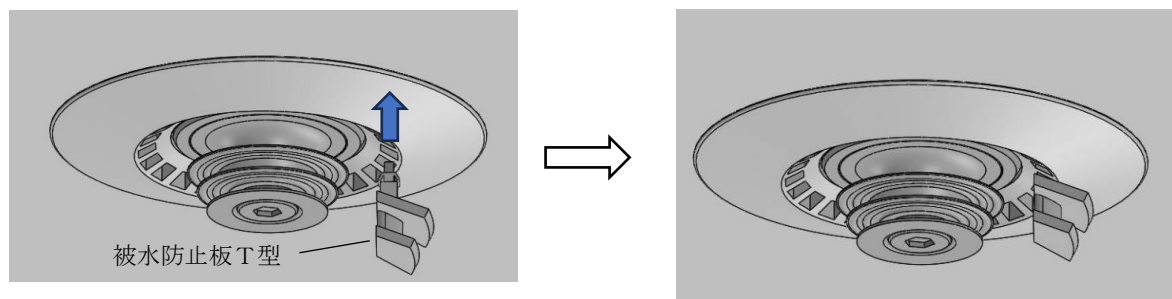
共同住宅等で同一居室内に2個以上の小区画型スプリンクラーヘッドを設置した場合、相互の離隔距離が「表1. 被水防止板無しの場合の必要離隔距離」を満足しないであっても、「最小離隔距離が1.0m以上」である場合は、被水防止板T型により、スプリンクラーヘッドの作動に支障をきたさないと考えます。

## 2. 取付け方法

(1) 閉鎖型スプリンクラーヘッドにシーリングプレートT型を取付けて下さい。



(2) 被水防止板T型をシーリングプレートT型の取付穴に上方方向にまっすぐ差し込んで下さい。シーリングプレートT型の取付穴奥にある薄膜が破れるまで差し込んで下さい。斜めになると被水防止板T型の取付部が破損する恐れがあります。取付後、軽く引張り容易に抜けない事を確認して下さい。



### <取付を容易にする方法>

市販されているプラスドライバー（外径約 2mm 程度、最大でも外径 2.5mm 未満）を用いて、シーリングプレートT型の取付穴を事前にあけると、被水防止板T型の取付が容易になります。

製品、並びに、記載事項に関する御問い合わせは、  
弊社、または、購入元販売店・代理店まで御連絡ください。

製造元

 株式会社 立売堀製作所

本社 〒550-0012

大阪市西区立売堀1丁目10番10号

TEL 06-6538-1238 / FAX 06-6541-5516

HBBN2026-02